

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
日本史B	4	文理コース	A B C	能勢 奈那
目 標	①基礎的事項の理解とその定着を図ります。 ②歴史的事象を客観的・多角的に捉える考察力を養成します。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用・表現	知識・理解
	授業に積極的に取り組んでいく態度。ノートをきちんととる姿勢。	習ったことをただ覚えるのではなく、ヒントをもとに自分で答える力。	写真や図表などの資料、また文字史料をとおして、多角的な視点から当時の状況を考える力。	歴史を学習していく上で基本的な用語・人物名などのきちんとした理解力。

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 律令国家の形成	・人類の誕生から古代律令制が確立されるまでの歴史を、東アジアの動きと連動させて理解する。
	期末	第2章 律令国家の形成 第3章 貴族政治と国風文化	・律令制の崩壊から貴族政治への流れを理解する。 ・天平文化から国風文化にかけての人々の暮らしを、中国との関係・影響に注目して考える。
二学期	中間	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立 第5章 武家社会の成長	・院政を経て武家政権が誕生する過程と、鎌倉・室町幕府のしくみについて理解する。 ・地方の産業の発達や文化の成熟といった民衆の動きにも注目する。
	期末	第5章 武家社会の成長 第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	・戦国の世を経て天下統一がなされていく過程を理解する。 ・惣村の成立や室町文化にみられる民衆の成長を意識して、当時の社会の動きを考える。
三学期	期末	第6章 幕藩体制の確立 第7章 幕藩体制の展開	・江戸時代初期の政治・経済・文化をきちんとおさえる。
評 価 の 方 法		定期テスト、小テスト、提出物（授業ノートや問題集）などで評価します。	
学習活動の特徴		教師の講義を中心として、基本事項を理解していくとともに、授業に関連することを自分なりにノートにまとめていくよう指導しています。	
授 業 の 形 態		ホームルーム単位の一斉授業	
使 用 教 科 書		詳説日本史B（山川出版社）	
使 用 副 教 材		新日本史要点ノート・応用編（啓隆社） ビジュアルワイド図説日本史（東京書籍） 詳録新日本史史料集成（第一学習社） 日本史重要語句 Check List（啓隆社） ウィニングコンパス日本史の整理と演習（とうほう）	
用 意 す る も の		教科書・副教材	